

希望

チューリッヒ日本人学校便り

平成 29 年 7 月 4 日 発行

第 13 号

編集発行 鈴木史良

“空はつながっている”の実現

—— 30周年記念式典に向けて練習に熱！ ——

1 1 月吉日に举行される開校 30 周年記念式典に向けて、諸準備が忙しくなってきました。ウスター市役所ホールでおこなわれる式典への参加は、セキュリティ及び会場のキャパシティの関係で、事前にすべての参加者が把握できるよう計画を進めています。一方、30 周年記念誌のほうも当日の発行を予定しており、原稿のとりまとめ、割り付け作業等が進行中です。子どもたちにかかわることは、式典では合唱、記念誌では学級ページです。

ここで子どもたちが取り組んでいる合唱について紹介いたします。曲名は「空はつながっている」です。この歌は、もともと沖縄県石垣市に住む小学校 3 年生の少年が書いた詩がもとになっています。たまたまこの詩を目にしたスイス在住のヴァイオリニスト、河村典子さんは、この少年の平和を願う思いに深く心を動かされました。そしてその詩を知り合いのスイス人作曲家ギーガーさんに依頼して合唱曲をつくりました。河村さんの願いは、この歌を世界中の子どもたちが歌い、すべての子どもたちが平和に、安心して暮らせるようになること—— そのために『空をつなげるプロジェクト』を立ち上げ、昨年 10 月、石垣市で小学生によるこの合唱曲の初演がおこなわれ、子どもたちの歌声が沖縄の空に響きました。

チューリッヒ日本人学校に来校された河村さんから、昨年 5 月にこのプロジェクトの話を伺ったとき、これこそ 30 周年記念式典にふさわしい歌ではないかと直感しました。世界のさまざまな場所で学んでいる子どもたちの思いが『空』という言葉でひとつにつながり、平和で安心して暮らすことができる地球をつくろうとすること。そのため、今自分たちのできることをしようとする気持ちや姿勢をもつことは、校歌に謳われる「世界に羽ばたく」人を育てることにつながります。

ただこの曲は 16 分近い長い曲です。この歌を補習校と共有し、歌いこなせるかどうか不安もありましたが、石垣市の小学生の合唱を聞き、河村さんの無償の支援、また子どもが歌うパートと難しい部分は女性合唱団の支援を受けることによって、合唱が実現できると判断いたしました。

世界をつなげるために自分のできることをするという大きな志をもち、ベストをつくして本番に臨みたいと思います。ご家庭でもご支援くださいますよう、よろしくお願いたします。



空はつながっている

作詞 増田健琉 作曲 ワルター・ギーガー

ぼくのお気にいりのばしょ
みどり色のしばふに ごろんとねころぶと
そよそよとふく風がぼくをやさしくなでる
遠くでひびくアカショウビンのなきごえ
目の前ではお母さんやぎがやさしい目で 子やぎたちを見まもっている
青あおと広がるやさしい空
でも、でも、
遠くの空の下では 今でもせんそうをしている国があるんだって
ぼくだんが つぎつぎと落とされ なきさけびにげまわる人たち
学校にも行けない 友だちにも会えない 家ぞくもばらばら
はい色のかなしい空 はい色のかなしい空
空はつながっているのに どうしてかな



どこまでが平和で どこからがせんそうなんだろう
どうしたら せんそうのないどこまでもつづく青い空になれるのかな
ぼくがお兄ちゃんとなかよくして 友だちみんなともきょう力して
お父さんとお母さんの言うことをきいて 先生の教えをしっかりとまもる
そうしたら せんそうがなくなるのかな
えがおとえがおが 遠くの空までつながるのかな
やさしい気もちが 平和の心が ちきゅうをぐるっと一しゅうできるかな

まだ 子どものぼく いのることしかできない
どうか 世界じゅうの子どもたちみんなが 学校にいけますように
友だちと あそべますように
どうか にこにこわらって 家ぞくでごはんがたべられますように
どうか 夜になったら すてきなゆめが見られますように
どうか しあわせでありますように
いつか 友だちになれますように



白いくも 白いくも
ぼくの平和のねがいをのせて このちきゅうをぐるっとまわって
青い空にそめてきて
きっと世界は 手をつなぎ合える 青い空のしたで 話し合える
えがおとえがおで わかり合える 思いやりの心で つうじ合える
わけ合う心で いたわり合える 平和をねがう心で 世界はうるおえる
だから ここに こんなにきれいな花がさくんだ
だから こんなに ぼくのうえに 青い空がひろがっている

青い空 青い空 ひろがるやさしい空
ぼくのお気にいりの ばしょ